



特定非営利活動法人  
六甲クラブ

# ROKKO NEWS

http://www.rokkorugby.com

Vol.21 2014.12

全国大会出陣号

## 進撃の六甲 リベンジロード 一直線!



六甲ファイティングブル	
0026	0000
2204前	2102後
2101	26計12

26	1214	06
	1	0
		6

芦屋クラブ

日本一奪回へいざ出陣! 六甲ファイティングブルは9月から11月にかけて行われた近畿ブロックトーナメント大会で優勝、21年連続21回目の全国大会出場を決めるとともに、近畿第1代表の座を勝ち取った。決勝の芦屋クラブ戦ではややFWにもたつきがあったものの、ノットライに抑えた。「第22回全国クラブラグビー選手権」は1月11日から開幕、六甲ファイティングブルの初戦は1月12日(祝)、愛知・瑞穂ラグビー場でR.K.U龍ヶ崎(関東・甲信越代表)と激突する。

近畿ブロックトーナメント決勝 (11月9日) 神戸ユニバ競技場補助G

▽交代 高橋元雄(大) 永田勝九(大) 加藤伊藤(大) 藤原(大) 加藤(大) 山田吉田(大) 谷中西(大) 田中良(大) 外村(大) 前田(大) 島田(大) 竹内(大)

六甲FW先発  
大(大) 高橋(大) 永田(大) 加藤(大) 山田(大) 吉田(大) 谷(大) 中西(大) 田中(大) 良(大) 前田(大) 島田(大) 竹内(大)

FW 村田(大) 野田(大) 野田(大) 加永(大) 村上(大) 山田(大) 島田(大) 竹内(大) 三玉(大)

HB 加藤(大) 野田(大) 野田(大) 加永(大) 村上(大) 山田(大) 島田(大) 竹内(大) 三玉(大)

TB 加藤(大) 野田(大) 野田(大) 加永(大) 村上(大) 山田(大) 島田(大) 竹内(大) 三玉(大)

FB 加藤(大) 野田(大) 野田(大) 加永(大) 村上(大) 山田(大) 島田(大) 竹内(大) 三玉(大)

「この雨だから必ずミスは起こる。ミスが起きた時、相手よりも早くセービング。ファーストコンタクト。最高の80分にしよう。走り切るぞ!」

谷主将の気合声で陣解が解け、六甲戦士がピッチに繰り出した。

『打倒六甲』がチームテーマの芦屋。想定はしていたがやはり、春の兵庫選手権で70-3と大勝した時とは全く違う試合の入り方だった。

プレクタクワンの球の絡み、リアクションが早い。3列陣の足首に入るタックルは健在で、前半5分にPGを決められて0-3と先制を許してしまう。直後の6分、フェイズを数回重ねたところでCTB前田が中央突破。フォロワーしてきたFB玉川にボールが渡り左中間にトライを決め、竹内のゴールも決まると、逆転に成功する。

その後互いの気迫があつかりあい、しばらくこう着状態が

奪冠へ ありのままに突き進め!

2日目の相手は福井県代表の高浜アトムズ。初対戦のチームだったが、開始早々からNo.8藤山の先制トライなどでリズムをつかみ、35-5で快勝。見事にAブロック優勝を飾った。

「いつもドリーム甲子園の皆さんから元氣と勇気を頂いている。今年は必ず優勝します!」と日本一奪回を固く誓った。

六甲クラブは今後もこうして地域貢献活動を積極的に続けていきます。

全国大会へ近畿第1代表の座をかけて、芦屋クラブとの「兵庫ダービー」。

六甲は奈良ムース戦から先発5人が入れ替わり、一抹の不安があった。しかし、選ばれたメンバーにとってはチャンスでもある。

「この雨だから必ずミスは起こる。ミスが起きた時、相手よりも早くセービング。ファーストコンタクト。最高の80分にしよう。走り切るぞ!」

谷主将の気合声で陣解が解け、六甲戦士がピッチに繰り出した。

『打倒六甲』がチームテーマの芦屋。想定はしていたがやはり、春の兵庫選手権で70-3と大勝した時とは全く違う試合の入り方だった。

プレクタクワンの球の絡み、リアクションが早い。3列陣の足首に入るタックルは健在で、前半5分にPGを決められて0-3と先制を許してしまう。直後の6分、フェイズを数回重ねたところでCTB前田が中央突破。フォロワーしてきたFB玉川にボールが渡り左中間にトライを決め、竹内のゴールも決まると、逆転に成功する。

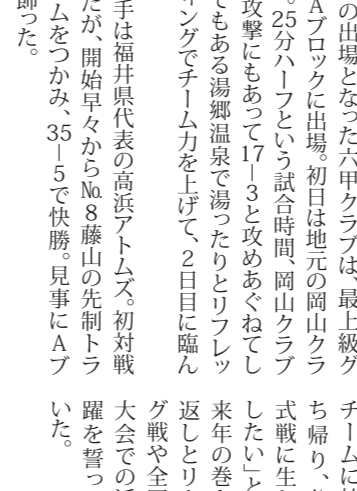
その後互いの気迫があつかりあい、しばらくこう着状態が

「長崎でモーレッツ全開! 兵庫代表長崎国体、決勝T進出!」

「長崎がんばらば国体」のラグビー。成年の部が10月19・20日、長崎市営ラグビー・サッカー場で行われた。兵庫代表10選手のうち、六甲クラブから主将を務めた竹内茂芳、三木勇太、由良康美の3選手と、狩野達朗トレーナーが参加した。

19日の「予選リーグ第1試合は、トヨタ・豊田自動織機のトップリーグ連合軍」でも愛知県に0-40と完敗スタートだったが、第2試合で、金石シーウエイプスの岩手県に42-14で快勝、第3試合の福井県とは接戦になったが、後半に逆転、17-12で勝利し、予選リーグ第2位で見事に決勝トーナメントに進出した。

翌20日の決勝トーナメント1回戦ではクリンファイトアーズの山梨県と対戦。前半リードを許し、後半2トライを返したものの14-26で敗退、敗者復活戦に回った。大会最終戦となる敗者復活戦は千葉県、NEC・クボタのトップリーグ連合軍だった。兵庫代表は強敵を向こうに真っ向勝負。24-33で敗退したが、最後まで戦い抜いた。主将を務めた竹内茂芳は「兵庫代表の誇りを胸に戦いました。相手は皆強敵ぞろぞろだったが決して勝てない相手ではなかった。来年も本国体に出場して、今年以上の成績を残したい。また、出場した3選手はこの経験をチームに持ち帰り、公式戦に生かしたい」と、来年の巻き返しとリーグ戦や全国大会での活躍を誓っていた。



△10月5日(日) 日岡山 G  
六甲RW 62 (27-5) 5 歩々  
ラガーズ  
▽10月26日(日) 日岡山 G  
六甲RW 59 (21-38) 7 SCIX

六甲クラブのデベロップメントチーム、六甲レッドウィングスが、今年も兵庫県「ファイティングブル」での活躍を目指してアビールする選手もいれば、「若手にはまだまだ負けたくない」というベテラン選手まで多くの世代が集まる。

10年以上も前に全国大会を経験している43歳WTB太田は「オジサン世代のチームに誘われたこともあるが、年代にしばられるのはイヤ。まだ若手に抜かれて『悔しい』と思うし、抜いたらうれしいしね」と、真剣勝負を楽しむ。三重県から駆け付けるのは57歳のWTB古村。普段はプロ顔負けのカメラでファイティングブルの試合を追いかけながら、レッドウィングの試合では懸命のプレーが光る。楯岡球に対する情熱は少しも衰えていない。高校を卒業した後の19歳から、六甲創世期を支えた57歳のベテランまで同じピッチで勝利を迫る「クラブラグビー」の理想がここにある。

「晴れの国」で爽快プレー

「関西クラブ大会・Aブロック優勝」

関西協会所属クラブチームの交流を深める第26回関西クラブ大会が9月13・14日、岡山県美作ラグビー場で行われ静岡から中四国まで関西協会所属の代表24チームが各ブロックに分かれて熱戦を展開した。今大会に久々の出場となった六甲クラブは、最上級グレードとなるAブロックに出場。初日は地元岡山クラブと激突した。25分ハーフという試合時間、岡山クラブのひたむきな攻撃にもあつて17-3と攻めあぐねてしまった。宿舎でもある湯郷温泉で湯ったりトリフレッシュ&ミーティングでチーム力を上げて、2日目に臨んだ。

2日目の相手は福井県代表の高浜アトムズ。初対戦のチームだったが、開始早々からNo.8藤山の先制トライなどでリズムをつかみ、35-5で快勝。見事にAブロック優勝を飾った。

楽しく強く、六甲レッドウィングス

「19歳から57歳までの選手が今年も大盛り」

△10月5日(日) 日岡山 G  
六甲RW 62 (27-5) 5 歩々  
ラガーズ  
▽10月26日(日) 日岡山 G  
六甲RW 59 (21-38) 7 SCIX

六甲クラブのデベロップメントチーム、六甲レッドウィングスが、今年も兵庫県「ファイティングブル」での活躍を目指してアビールする選手もいれば、「若手にはまだまだ負けたくない」というベテラン選手まで多くの世代が集まる。

10年以上も前に全国大会を経験している43歳WTB太田は「オジサン世代のチームに誘われたこともあるが、年代にしばられるのはイヤ。まだ若手に抜かれて『悔しい』と思うし、抜いたらうれしいしね」と、真剣勝負を楽しむ。三重県から駆け付けるのは57歳のWTB古村。普段はプロ顔負けのカメラでファイティングブルの試合を追いかけながら、レッドウィングの試合では懸命のプレーが光る。楯岡球に対する情熱は少しも衰えていない。高校を卒業した後の19歳から、六甲創世期を支えた57歳のベテランまで同じピッチで勝利を迫る「クラブラグビー」の理想がここにある。



洗練されたクリアな味、辛口。 SUPER "DRY"

Asahi アサヒビール

お酒

「ビール」 飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。のんだあとはリサイクル。すべては、お客さまの「うまい!」のために。アサヒビール株式会社

主将 21年連続出場  
の全国大会へ新たな課題もできた。

「この時期に緊迫したゲームができたのは収穫です。これまで大差で勝つことが多かったのですが、僕はそんなに強いわけではない。弱くないがもうい、という点を再認識できました(谷主将)

自分たちの「もろさ」「弱さ」に気づいた時、チームはさらに熟成を深めていく。また、全国大会1回戦の相手は北関東・甲信越代表の「R.K.U龍ヶ崎」と決まった。流経大ラグビー部のC/Dチームで、若く日頃の鍛錬を繰り返す最強のチームと対戦することになった。

「こんなカテゴリーでも日本一になることは本当に大変なことですが、六甲は常に日本一を目指すのではなく、僕らが日本一を目指せんと谷主将は言う。「僕らが日本一を目指せるチームを造るのは多くの先輩方が世を越えて六甲クラブで戦い築き上げた歴史のおかげです。それに誇りを持たなければならぬ」。

決して譲れない、本当の闘いが始まる。「勝つこと、日本一になることが恩返しになる。それは支えてくれるスタッフだけでなく、家族や両親、スクール、中学、高校、大学で自分たちがラグビーの素晴らしさを教えてくれた全土の人たちへの最高の恩返しになるはず。25歳の若きスキップは言葉に力を込めた。

全国大会まであと1か月。六甲戦士たちの挑戦は続く。

六甲ファイティングブル。

今はただ走り抜けるのだ!

「その後互いの気迫があつかりあい、しばらくこう着状態が

その後互いの気迫があつかりあい、しばらくこう着状態が

その後互いの気迫があつかりあい、しばらくこう着状態が



死ぬこと以外カスリ傷、本気でぶっ潰す!

BKリーダ 寺田 幸司 (てらだ・こうじ 29歳・CTB/WTB)



「昨年準決勝のバーバリアンズ戦...」

「昨年準決勝のバーバリアンズ戦...」

全国大会 注目選手 日本一にならなまや ダメよくダメダメ!!

「日本一になりたい」。そう決意してやってきた。

玉川 英人 (たまがわ・ひでと 29歳・FB)



「日本一になりたい」。そう決意して、玉川は今春六甲にやってきた。

「日本一になりたい」。そう決意して、玉川は今春六甲にやってきた。

【走るラグビー】で日本一!

FWリーダ 高橋 樹 (たかはし・たつき 25歳・PR)



「昨年準決勝で負け...」

全国に強い六甲を見せる!

副将 志摩 拓也 (しま・たくや 29歳・No.8)



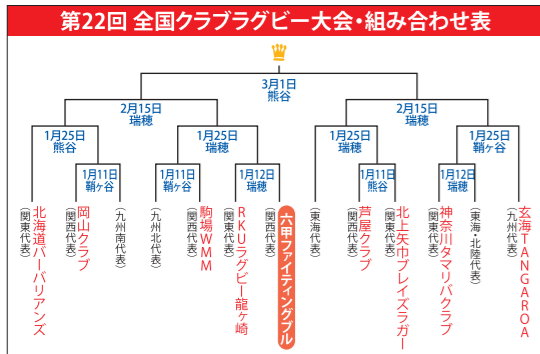
「昨年準決勝で負け...」

【for the team】の精神で戦い抜く!

主将 谷 晋平 (たに・しんぺい 25歳・SH)



「日本一に向けて...」



GM 東田 哲也 (ひがしだ・てつや) ...

雨を切り裂く13トライ!

日本一奪回へ、決意の22トライ!

近畿ブロックトーナメント準決勝 (11月2日 山城総合公園太陽が丘球場)

Scoreboard for the match between Sakai Hawks and Nara Muses.

- Player list for the match including names and positions.



キックオフ直前、宇治の空から雨が降ってきた。しかし、そのことを気に掛ける六甲戦士は一人もいない。

ベテラン・由良、時々笑みを含みながら生き生きと防衛を突破してラインを動かし...



近畿ブロックトーナメント 1回戦 (9月28日 京都・宝ヶ池球場)

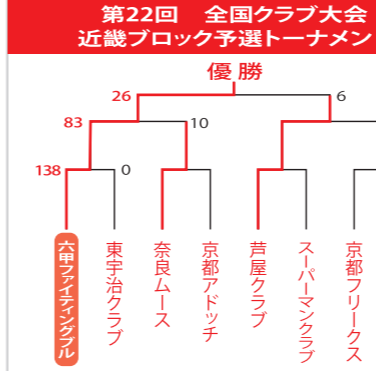
Scoreboard for the match between Sakai Hawks and Toyouke Blue Swans.

前半3分、ゴールPR島邑もずんぐりした体でランプレー...

降り続く雨の中、なかなかブレイクダウンが安定しないなか、10分には早くも、トトリックを決める3つ目のトライで主導権をガッチリ握った。

後半4分、FB玉川が右隅に飛び込んだトライを皮切りにまたトライラッシュが始まる。

高橋の激しいブレイクダウンでターンオーバー、斬り返して三木が止まらずに...



いつも暖かい応援ありがとうございます。我々六甲ファイティングブルは全国大会でクラブ王者奪回を目指します。